

科目名	学生生活入門Ⅱ (法律学科)	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			法律学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Introduction to University life Ⅱ	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	わたなべたけし・かわぐちまこと・あきやま えいいち・たきざわじゅん・なかむらいつは る・おにつかたかまさ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	渡部毅・川口誠・秋山栄一・瀧澤純・中村逸 春・鬼塚隆政	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	大学生活に慣れ、大学の学びの基本を知り、将来の目標を見据える。			
到達目標	自ら問いを探し、勉強や研究に取り組み、自ら答えを出すための思考と作業ができるようになる。			
授業概要	1年生論文の作成と発表を通して、資料の検索方法、文章作成能力、プレゼンテーション能力を養う。授業全体を通して生活指導を行うほか、一部の回では個人面談や将来に向けた活動を行う。			
授業計画				
第1回	レポートから論文へ、個人面談			
第2回	1年生論文のテーマを考える、個人面談			
第3回	本と新聞を探して引用する			
第4回	インターネットで資料を探して引用する			
第5回	1年生論文の仮提出に向けて			
第6回	1年生論文の仮提出と中間報告			
第7回	論理的な文章			
第8回	1年生論文の最終チェック			
第9回	1年生論文の最終提出、発表の技術			
第10回	1年生論文のクラス内発表			
第11回	1年生論文の全体発表			
第12回	メールを送る			
第13回	4年生からの講話			
第14回	将来に向けて、個人面談			
第15回	2年生に向けて、個人面談			
第16回	定期試験			
授業時間外の 学習	授業前には予習を行い(1.5時間程度)、授業後には復習を行うこと(1.5時間程度)。また、出題される課題を実施することが必要になる(1.0時間程度)。			
履修条件 受講のルール	授業初回から授業第12回まで、パソコンを必ず持参すること。			
テキスト	使用しない。			
参考文献・資料	田高寛貴・原田昌和・秋山靖浩『リーガル・リサーチ&レポート』(有斐閣, 2015)			
成績評価の方法	定期試験 50%、課題提出と発表 30%、行事への参加と授業態度 20%の割合で評価する。公務員参観のレポートが未提出だと、「行事への参加と授業態度」の20点分が0点になる。※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	渡部：火曜 10:00~11:00 木曜 15:00~16:00 川口：月曜 13:00~14:30 木曜 13:00~14:30 秋山：月曜 14:40~16:10 水曜 14:40~16:10 瀧澤：火曜 10:40~12:10 金曜 10:40~12:10 中村：木曜 14:00~15:30 金曜 14:00~15:30 鬼塚：(授業初回にお伝えします)			
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)とする。			
実務経験及び実務を活かした授業内容				
学生へのメッセージ	大学では「自ら問いを探し、自ら答えを出す姿勢」が求められます。この授業はその姿勢を身につけるための基礎となるものです。全ての回が重要ですので、欠席はしないようにしてください。			

科目名	学生生活入門Ⅱ (国際学科)	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			国際学科	■必修 □選択
英文表記	Introduction to University Life Ⅱ	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	こくさいがつか せんじんきょういん	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	国際学科専任教員	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	主体的な学びの姿勢の育成、基礎的スタディスキルの修得、生活指導ならびにキャリア・サポート			
到達目標	1. 大学生として必要な主体的な学びの姿勢を身につけることができる。 2. 大学における学修のための基礎的なスタディスキルをしっかりと身につけることができる。 3. 明確な目標の実現に向けて、情熱を持ち続けながら取り組むことができるようになる。			
授業概要	大学生らしく学ぶためには、はじめに「主体的な学びの姿勢」を身につけることが重要です。そのためには、スタディスキルの基礎、および社会人の基礎力ともなるコミュニケーション能力や教養を身につけることが大切です。この授業では、大学生活を円滑に有意義に過ごすために、1年生論文の作成と発表を通して、上記のことを総合的に学びます。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション・個人面談			
第2回	1年生論文のテーマを考える			
第3回	本と新聞を探して引用する			
第4回	インターネットで資料を探して引用する			
第5回	研究活動における不正行為・不適切な行為の防止について			
第6回	1年生論文の仮提出と中間報告			
第7回	論理的な文章の書き方			
第8回	1年生論文の中間チェック			
第9回	1年生論文の最終提出、プレゼンテーションに向けて			
第10回	1年生論文のクラス内発表			
第11回	1年生論文の全体発表			
第12回	地政学の基礎			
第13回	キャリアデザインⅡ			
第14回	総合学習			
第15回	後期の反省・個人面談			
第16回	後期定期試験			

授業時間外の学習	<p>[予習] 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、参考文献やWEBサイトなどを活用し予習をしてください。(90分程度)</p> <p>[復習] ノートや配布資料を確認し、参考文献やWEBサイトなどを活用し復習をしてください。(90分程度)</p> <p>[その他] 日常的に新聞を読み、社会の出来事に関心を持って生活してください。(30分程度)</p>
履修条件 受講のルール	<p>国際学科1年生の必修科目です。</p> <p>大学生らしい整容と主体的な学びの姿勢が求められます。</p> <p>毎回、必ずパソコンを持参してください。</p>
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	適宜配布ないし授業内で案内します。
成績評価の方法	<p>下記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <p>①定期試験(50%) ②課題の提出と発表(30%) ③主体的学びの姿勢(20%)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 克枝：火曜日および水曜日 14時40分～16時10分 ・橋元 志保：木曜日 13時00分～16時00分 ・半田 幸子：月曜日 14時00分～15時00分／水曜日 15時00分～16時00分 ・井上 寛：月曜日 9時00分～10時30分／金曜日 13時00分～14時30分 <p>※これ以外の時間は事前に予約してください。</p>
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>学生生活入門での学びは、すべての学修の基盤となります。ここで一生懸命学ぶことにより、大学4年間で充実したものとなるはずで、決意と情熱をもって取り組んでください。</p>